かめおか 市議会だより

No.210

亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる

2026年（令和８年）10月31日



「指定ごみ袋」条例改正案（値上）否決

特集　事務事業評価　分科会で評価「休止」
子ども議場見学会　開催

撮影場所：保津町　市の鳥 コウノトリ

発 行／亀岡市議会　〒621-8501 亀岡市安町野々神8番地
TEL（0771）25-5051　FAX（0771）25-6965
電子メール　gikai@city.kameoka.lg.jp

亀岡市議会

HP　Facebook

地方自治体の財務に関する事務執行や公営企業等の事業の管理を監査

9月議会を終えて



令和8年2月特別議会において監査委員として選任いただいてから、8か月が経ちました。監査委員は地方自治法で定められた執行機関の一つです。本市では、識見委員から選ばれた代表監査委員と議会選出監査委員である私の2名が、監査委員事務局とともに定期監査、例月出納検査、基金運用状況の審査、健全化判断比率の審査などを行っています。

9月議会に先立ち、決算審査を実施し、その結果は審査意見書として市長に提出され、市長から議会に提出されました。

任期の残り期間も、監査委員として培った経験を生かし、職務を全うしてまいります。今後も多くの議員に監査委員の経験をしていただきたいと考えています。

監査結果は、市のホームページで公開していますのでご覧いただければ幸いです。

監査委員　木村　勲

市民の声

本会議を傍聴して



議会モニター
吉田　悦子さん

令和8年9月議会のライブ中継を視聴し、モニターさせていただきました。各議員の個人質問はそれぞれに興味があるもので、特に9月8日に一般質問された大石議員の学校施設改修状況についての質疑と答弁が知りたい内容でした。私には中学2年になる娘がおり、放課後には体育館で部活に励んでいます。この夏も猛暑が続く中、体育館には冷暖房設備がなく、毎日事故が起きないか不安になりながら送り出していました。令和9年度より設計開始ということで、設備の目処が立っていることに安堵しました。また、他議員の方々の農業問題の質疑応答も大変興味を抱くものでした。介護や農業問題は私の生活には接点がなく、何に問題があるのか、何をすれば改善されるのか、議員の皆さんが市民の声を聞き、すく い上げ、議会で審議していただくことは、一市民にとって大変心強いことであります。引き続き議会のモニターをさせていただきたいと思います。いつも市民のためにご活躍ありがとうございます。



議会モニター
沼田　雅人さん

市議会モニターとして9月定例会の本会議を傍聴しました。議場に設置された大型モニターを活用した一般質問は、視覚的な補足があることで、論点が明確になり、非常に理解しやすく貴重な経験となりました。特に、議員の中には、一般質問で、イラストも交えた分かりやすい資料を活用されており、内容をより深く理解することができました。開かれた議会、議会への関心をさらに高めるため、事前に用意される定例会資料や質問事項だけでなく、閉会後も質問に対する市長などの答弁を取りまとめた資料を市ホームページなどで容易に閲覧できる仕組みを整えてほしいです。

12月議会の予定

11月30日		本会議（議案提案）
12月8日		本会議（一般質問）
9日		議会運営委員会
10日		本会議（一般質問）
11日		本会議（一般質問）
14日		各常任委員会
15日		
16日		
18日		議会運営委員会
21日		各常任委員会 議会運営委員会 本会議（議案採決）

※この日程は予定であり、変更となる場合があります。
※その他の委員会などの開催については、随時ホームページに掲載します。

市長へ提言書を提出



令和8年8月31日に産業建設常任委員会は、今年度のテーマである「みどり」と産業が循環するまちづくり及び常任委員会の会派視察で学んだ先進的な取組や実践例などに基づき、市内完結型資源循環モデルとして、「下水汚泥、家畜ふん尿、草木類及び剪定枝等の処理に関する提言」を桂川孝裕市長へ提出しました。

かめまるくんとしんがくんの議会とーく

多様な世代との議会をつなぐ ～子ども議場見学会～

教えて！9月議会のポイント 令和7年度の決算を徹底審査



今年も小学生のみなさんが議場の見学会に来てくれたんだね。本会議場では、身近な質問も出たんだってね。

亀岡市観光マスコットキャラクター
明智かめまる



今年は14人の小学生議員が参加して、議場内の見学やクイズで楽しい時間を過ごしてくれたんだ。そして、本会議場では、これからのクラブ活動のことや学校給食のことなど、真剣な質問や意見が出たんだよ。

【3ページへ】

石田梅岩イメージキャラクター
しんがくん



未来の主役たちが大活躍だね！議会が身近に感じてもらえたかなぁ！



ところで、9月議会はどんな内容だったの？

今回、9億5650万円を追加する補正予算が決まったよ！例えば、譲渡された養豚場施設の跡地活用などの経費が追加補正されたよ。ほかには、学校給食センターの設計や建設運営の本契約が決定されたよ。



9月議会は昨年度の決算審査をおこなうんだよ。市民の皆さんからお預かりした大切な財源を市民福祉の増進のために適正に使われたかを丁寧かつ慎重に審査するんだ。また、事務事業評価といって特に注目すべき事業を集中審査するんだよ。

【4・5ページへ】



他に重要なことはなかったの？



指定ごみ袋の値上げに関する条例なども議論されたんだよ。それと、市民の方から、3件の請願の提出があり、それぞれが意見陳述をされたんだ。

【7ページへ】

第4回 子ども議場見学会を開催しました



楽しかった議会たんけん！

議会が身近に!!

次世代の子どもたちに市議会をより身近に感じてもらうため、令和8年8月8日（土）、市内の小学1年生から6年生を対象に「第4回ワクワク議会たんけん！夏休み子ども議場見学会」を開催しました。

当日は14人の小学生と保護者のみなさんにご参加いただき、議会たんけんや登壇体験、市議会クイズ、議員への質問コーナーなどを通して、楽しく議会について学んでいただきました。



記念撮影



議会たんけん



登壇体験





市議会クイズ



議員に質問・要望

- 私たちが中学生になったら、部活動はなくなるの？
- 学校でのいじめをなくすためにしていることは？
- 給食のからあげをもっと増やしてほしい

保護者も 議会が身近に

- 普段は入れない場所を見ることができ、親子で貴重な体験となった。
- 市議会をより身近に感じることができた。
- 学校の授業で議会見学を取り入れてほしい。
- 子どもたちが結構鋭い質問をしていて驚いたし、楽しかった。

《広聴部会より》

今回の議場見学会では、給食やいじめ、部活動など、子どもたちから身近で率直な声を聞くことができました。

議会をより身近に感じてもらうとともに、子どもたちの声を大切にし、これからも市民の皆さんに開かれた議会を目指してまいります。

議会広報広聴ストーリー／「あの件どうなったの？」

昨年のわがまちトークで育児中のお母さんから「ガレリアかめおかの授乳室が使いづらいので改善してほしい」との意見をいただきました。

その場に参加していた議員が本年６月議会の一般質問で取り上げ、その後、明るくてプライバシーにも配慮された使いやすい授乳室へとリニューアルされました。

特集！

市民福祉のさらなる増進をめざして

今年度の執行・来年度の予算に反映させることを求める

決算特別委員会

事務事業評価で令和7年度決算を徹底審査!!

決算特別委員会は、常任委員会を単位とする3分科会で各会計を審査し、令和7年度決算を認定した。事務事業評価では、あらかじめ選定した10事業を集中審議し、必要性・妥当性・効率性・成果の4つの視点で数値化して評価した。

事業はどんな視点で評価するの？

- 必要性 …… 目的は？必要か？
- 妥当性 …… 市が行うべき事業？
- 効率性・費用対効果 …… 費用にムダなく効果は高い？
- 成　果 …… 十分あらわれている？

各項目を5～0点で各議員が評価



委員が評価する流れ

執行部から説明を受ける

① 説明に対する質疑
② 委員間で自由討議
③ 各委員が個人評価

各委員の評価から分科会としての評価結果をまとめる

PICK UP

個人評価	評価基準	合計点数
5…	きわめて良好である	…91～100点
4…	良好である	……71～90点
3…	おおむね適正である	……51～70点
2…	課題がある	……31～50点
1…	かなり問題がある	……11～30点
0…	不適正である	……0～10点

※これに基づき総合評価を決め、意見を付けました。
※各議員の点数を合計し、100点換算しています。

事務事業評価の概要と流れ

7～8月
・各分科会で令和7年度事業の評価対象事業を選定
・評価対象事務事業を執行部へ通知
・選定した事業の調査と論点整理

9月議会
・決算審査時に事務事業評価を実施

9月議会
・執行部同席で評価対象事業の評価を実施

9月議会終了後
・評価結果を送付

翌年度3月議会
・当初予算審査時に執行部から改善対応などの説明を受ける

事務事業評価とは…

決算審査は、全ての事業を対象に行いますが、市政運営や今後の予算編成に議会の意見がより反映されるように、あらかじめ選定した項目を、集中質疑で数値化して評価を行うものです。

評価結果や議会の意見は市長などに送付され、今年度の執行や次年度以降の市政運営・予算編成に反映するよう求めたよ。各分科会で行った事務事業評価から、3事業を紹介するよ。



事務事業評価の全項目、全文はこちら▼

事業名	点数	評価	総合評価	分科会
文化振興経費（亀岡ジャズフェスティバル事業補助金）	26	1	休止	総務文教
セーフコミュニティ推進経費	72	4	拡充	総務文教
不登校対策経費	68	3	見直しの上拡充	総務文教
いじめ防止対策経費	70	3	拡充	総務文教
災害時要配慮者支援経費	71	4	見直しの上継続	環境市民厚生
高齢者生活支援経費（敬老乗車券事業に係る経費）	72	4	見直しの上継続	環境市民厚生
保険者機能強化推進事業経費（いきいき健幸ポイント事業に係る経費）	71	4	見直しの上継続	環境市民厚生
有機農業推進事業経費	71	4	拡充	産業建設
商工業振興対策経費	66	3	見直しの上継続	産業建設
移住・定住促進経費	60	3	見直しの上継続	産業建設



しんがくんのワンポイント解説

総務文教常任委員会

文化振興経費（亀岡ジャズフェスティバル事業補助金）

《決算額 300万》

音楽を通じて文化力の向上や地域の活性化を図る取組を支援する事業

休止

【論　点】
○市民や地域のアーティストが参加し、音楽を通じて文化力や福祉の増進がどのようにはかられたと見ているか。

【主な意見】
○収支報告については、補助金拠出の対象事業を明確に区分されたい。また、不正や疑義が生じることのないよう、一層の透明性の確保を図られたい。
○行政が実行委員会に対してより深く関与し、実行委員会の体制も含めた在り方全体について抜本的に再考されたい。
○この事業が市民福祉の増進につながっているのか、徹底した検証に努められたい。

評価結果は「休止」という厳しい判断が下されたんだよ。焦点となったのは、この事業がどのように市民福祉につながったのかという「成果」と、補助金使途の「透明性」なんだ。委員側の「公金投入に見合う根拠と適正な会計手続きを示すべき」という指摘に対し、行政側から明確な回答が得られなかったんだ。実行委員会の在り方も含め、事前計画から決算まで抜本的なやり直しが強く求められたんだ。これらの改善や新体制の取組次第では、事業を再開する可能性についての議論もあったよ。そのため、今回の評価は「中止」ではなく、あえて「休止」としたんだ。

環境市民厚生常任委員会

災害時要配慮者支援経費

《決算額 122万2399円》

災害時に避難支援が必要な人の迅速な避難につなげるための経費

見直しの上継続

【論　点】
○個別避難計画は実効性のある計画になっているのか。
○命のカプセルの情報が現状に即して更新され、時代の変化に応じた見直しが的確に行われているのか。

【主な意見】
○命のカプセルについては、課題や今後の方向性を確認した上で、時代に応じた見直しを含め、現実的な形にブラッシュアップされたい。
○実効性のある計画の作成や共助の仕組みづくりに向け、広報・周知の取組強化および地域・消防団・関係機関との連携を一層推進されたい。

平常時から要配慮者の確認や見守りを行い、必要な災害情報の提供や個別避難計画の更新を続けることが大切だけど、今の体制では作成・更新が手一杯な状況なんだ。各地域の民生委員や自治会が情報共有できる場を設けるなど、地域の実情に合った連携方法に改善してほしいんだ。また、命のカプセルはリアルタイムでの更新が課題だけど、マイナ救急にはない緊急連絡先の記載があるよ。併用して相乗効果を出すなど、更新頻度や呼びかけについて検討をしてほしいと考えているんだ。

産業建設常任委員会

有機農業推進事業経費

《決算額 3830万5537円》

有機農業の担い手育成、作付面積拡大や販路確保を進める経費

拡充

【論　点】
○担い手の育成や有機農業の作付面積の拡大、農業者所得の向上、米飯給食をはじめとした販路確保の成果を検証し、地域経済に寄与しているのか。また、より効果的な事業展開に自走できる仕組みにつなげているのか。

【主な意見】
○本市における有機農業の推進は軌道に乗り始めたばかりであり、各種事業費の効果は現時点で十分に現れていない。今後は、有機作付面積の拡大や有機JAS認証の取得促進に加え、販路の拡大や規格外野菜の有効活用といった出口戦略を確立し、有機農家の所得向上に確実につなげられるよう、着実に取り組まれたい。

国家戦略でもある有機農業は、化学肥料や農薬を使わず、生物多様性の保全や環境負荷を減らし温室効果ガス削減など、とても大切な農業なんだ。学校給食でも安全安心の食材として提供する予定だよ。だから、今回は71点で「拡充」と評価したよ。そして、作付面積や有機JAS認証を広げ、販路拡大と規格外野菜の活用が大切で農家の所得向上を求めたよ。



総務文教常任委員会

一般会計補正予算（第2号）可決（全員賛成）

○自転車ヘルメット補助金申請増に伴い予算増額

交通安全対策経費　80万円増

【主な質疑】

問　補助金の活用が進んでいる点は評価するが、高校生のヘルメット着用への対策は。

答　警察署から着用率が低いと聞き、他自治体の取組も参考に対策を進めるよう京都府へ要望し、交通安全対策委員会でも協議している。

○亀中校舎、漏水対策による環境改善へ

学校建設事業費（中学校費）増　6297万4千円

主に亀岡中学校校舎、陸屋根の防水機能の低下により、雨漏りが各所に広がっていることから、速やかに屋上防水対策として設計・改修工事を実施する。

【指摘要望事項】

現在、屋上に多数の亀裂が見られ漏水被害が著しいことから、雨漏りの発生時期と修繕対応の経過を確認し、その対応が適時適切であったのか報告されたい。また、過去に実施された防水工事の工法を検証して今回の工事に生かすとともに、今後は点検の徹底と計画的な予防保全により、施設の長寿命化に努められたい。

環境市民厚生常任委員会

亀岡市循環型社会推進条例の一部改正
否決（賛成少数）

○さらなる資源化に向けた料金改定

ごみ減量の推進や処理コスト高騰のため、家庭系の指定ごみ袋を現行の1リットルあたり1円を2円に改定するものである。

【主な質疑】

問　料金改定は市民生活に影響が大きく、市民理解を得るのが先ではないか。

答　亀岡市循環型社会推進審議会答申の内容を踏まえ、議会で審議・判断いただいた上で丁寧な市民説明をすべきと考えた。

問　使用済紙おむつの資源化を先行させる考えはないのか。

答　ごみの資源化・減量化を進めつつ、京都市との広域処理に向けて段階的に取り組む。

問　なぜ、今改定をするのか。

答　処理コスト高騰と将来のごみ減量を見据える中で、施行まで1年半の説明・周知期間が必要と考えたため。

問　燃やすしかないごみの処理費用が約1.85倍に上がったがその内訳は。

答　収集運搬費、焼却施設の運転管理費、修繕費などである。今後、施設老朽化に伴う修繕料のさらなる増加も見込まれている。

【主な討論】

反対　料金改定とごみの減量化の関係が理解しにくい。まずは市民への丁寧な説明が必要である。別の方法でごみ減量を目指すべきである。

賛成　単なる値上げではなく、ごみ処理費用高騰への対応や施設の延命化を図る上では、ごみ減量が必要不可欠である。

産業建設常任委員会

一般会計補正予算（第2号）可決（全員賛成）

○市内中小企業等の経営改善を支援

商工業振興対策経費　500万円増

企業の経営改善や地域経済の活性化を図るため、市内の中小企業等を対象とした経営状況等の個別調査、分析に要する経費を増額する。

【主な質疑】

問　対象となる企業数や業種は。

答　市内中小企業等約300社を想定している。特定の業種に限らず、幅広い業種を対象とする。

問　事業の内容と目的は。

答　市内の中小企業等の経営状況等を分析し、その企業の強みや弱みを可視化することで、企業の業務改善につなげ、賃上げ原資の創出を図る。

問　類似事業との違いは。

答　一般的な経営相談は、企業側から相談を行うものであるが、本事業では、行政側から積極的に企業側にアクションするプッシュ型としている。

○地域の生活道路安全対策の充実

道路維持経費　1936万円増

地域こん談会等の要望を踏まえ、生活道路などの機能維持や安全対策を行う経費を増額する。

【主な質疑】

問　優先順位の基準は。

答　通学路の安全対策、浸水防止対策、転落防止対策、脱輪防止対策が優先だが、現場の状況により、優先順位を決めている。

今議会のフォーカス

ごみ袋値上げに関する「循環型社会推進条例の一部改正」議案

環境市民厚生常任委員会でも多くの議論があり、９月議会最終日の本会議には関心も高く、多くの市民が傍聴されました。常任委員会では「否決すべきもの」となり、本会議での討論と採決に注目が集まりました。

反対討論

ごみ袋料金を２倍にする根拠や値上げによる減量効果が十分示されておらず、高齢者や低所得者世帯には負担が増えるおそれがある。また、市民への説明が不十分だと誤解を招きやすく、そのままでは議会での理解を得にくくなる。「世界に誇る環境先進都市」を目指す取組が誤解で停滞してしまうおそれがあり、懸念する。

賛成討論

桜塚クリーンセンターやエコトピア亀岡の老朽化も進み、近年の物価高騰と社会情勢による維持管理のコストの上昇となり、さらなる資源化への誘導とごみ排出量の削減を目的として受益者負担は必然であり値上げは妥当である。

本会議での採決は賛成者少数により否決となりました。

請願・陳情

請願・陳情、意見書の詳しい内容については
ＱＲコードを読み取ってね



請願は、誰もが議会に対して法律や政策などについて正式な手続きで要望や意見を「政策提言」として提出することです。
請願は紹介議員の署名が必要ですが、陳情は必要としません。
常任委員会における審査では請願者が陳述を希望する場合は、委員会で許可を受けて、意見陳述を行うことができます。

◆付託委員会　産業建設常任委員会

不採択	受理番号 1	中山間地の農地保全に対する亀岡市独自の補助制度創設を求める請願

◆付託委員会　総務文教常任委員会

採　択	受理番号 2	市長部局関与型いじめ重大化防止及び支援の条例整備と創設に関する請願

◆付託委員会　総務文教常任委員会

不採択	受理番号 3	不登校児童生徒の学習権及び進路選択を保障するためのＩＣＴを活用した在宅学習・出席扱い制度の整備を求める請願

意見書

９月議会において、２件の意見書（案）が可決されました。

○いじめ重大化防止に向けた体制強化および支援体制の整備に関する意見書（案）
［発議者］　総務文教常任委員長　山本　由美子

○障がいのある方のライフステージに応じた切れ目のない支援と、家族の就労・生活を支える仕組みの充実を求める意見書（案）
［発議者］　松山　雅行、竹内　博士、土岐　新、梅本　靖博

意見書とは…　議会が国などに対して「こういうことをしてほしい」と意見や要望を伝える文書のことです。

本会議での討論

討論の内容はこちら➡

議員名	件　名	賛成／反対
福井　英昭 議員	循環型社会推進条例の一部改正	反対
法貴　隆司 議員	令和７年度一般会計決算	賛成
大西　陽春 議員	循環型社会推進条例の一部改正	反対
	令和７年度国民健康保険事業特別会計決算	〃
林　　徹司 議員	令和７年度一般会計決算	賛成
三上　　泉 議員	令和７年度一般会計決算	反対
	亀岡市学校給食センター整備運営等事業設計・建設業務請負契約の締結	〃
	不登校児童生徒の学習権及び進路選択を保障するためのＩＣＴを活用した在宅学習・出席扱い制度の整備を求める請願	賛成

議員名	件　名	賛成／反対
梅本　靖博 議員	令和７年度一般会計決算	賛成
片山　輝夫 議員	令和７年度水道事業会計決算	反対
	令和７年度下水道事業会計決算	〃
	中山間地の農地保全に対する亀岡市独自の補助制度創設を求める請願	賛成
木村　　勲 議員	循環型社会推進条例の一部改正	賛成
原野　実生子 議員	令和７年度一般会計決算	賛成
小林　　仁 議員	不登校児童生徒の学習権及び進路選択を保障するためのＩＣＴを活用した在宅学習・出席扱い制度の整備を求める請願	反対

議決結果

一覧はこちら→



詳しくはこちらのQRコードを読み取ってね

賛否の分かれた議案



各議案の内容は、亀岡市ホームページに掲載しているよ。

○賛成
×反対、態度保留など

会派名	新清流会						経政会				躍動～輪の風～				北星志士の会			共産党議員団			公明党議員団		
議員名	法貴隆司	小林仁	大石慶明	福井英昭	菱田光紀	西口純生	大塚建彦	浅田晴彦	平本英久	齊藤一義	竹内博士	梅本靖博	土岐新	松山雅行	原野実生子	山木裕也	木村勲	大西陽春	片山輝夫	三上泉	林徹司	冨谷加都子	山本由美子
付託先	件名・結果																						
決算特別	令和７年度一般会計決算	認定	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	令和７年度国民健康保険事業特別会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	令和７年度水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
	令和７年度下水道事業会計決算	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
総務文教	亀岡市学校給食センター整備運営等事業　設計・建設業務請負契約の締結	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×	×	○	○	○
環境市民厚生	循環型社会推進条例の一部改正	否決	○	×	×	×	○	×	○	×	×	○	×	○	○	○	○	×	×	×	×	×	×
請願	中山間地の農地保全に対する亀岡市独自の補助制度創設を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×
	市長部局関与型いじめ重大化防止及び支援の条例整備と創設に関する請願	採択	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	不登校児童生徒の学習権及び進路選択を保障するためのICTを活用した在宅学習・出席扱い制度の整備を求める請願	不採択	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×

※小川克己議員は、議長職のため表決権はありません。

人事関係

○新たな人権擁護委員候補者の推薦に対し異議がないと意見を述べました。

江口（えぐち）　昌道（まさみち）氏　　大井（おおい）　龍樹（りゅうき）氏　　藤村　かをる氏　　川勝（かわかつ）　厚男（あつお）氏

傍聴のご案内とインターネット中継

亀岡市議会の本会議を議場でご覧いただくこと（傍聴）ができます。

○本会議当日に市役所８階議場までお越しいただき、傍聴届に住所・氏名を記入していただくだけで傍聴できます。

○亀岡市議会では、必要に応じて手話通訳などに対応しています。（※事前申し込みが必要）手話通訳などをご希望される場合は、会議の１週間前までに議会事務局にご相談ください。

○発熱されている方、体調不良の方は傍聴をご遠慮ください。



9月議会では、20人の議員が一般質問（※）を行いました。その主な問答の要旨について各議員の要約原稿を掲載しました。（文責は各議員にあります。）なお、他の質問項目については、亀岡市議会ホームページでご覧いただけます。

（※）一般質問とは、議員が市の行政全般にわたり執行機関に対し、事務の執行状況や方針などを質問することをいいます。議長は、一般質問を行いません。

※インターネットでも本会議のライブ中継・録画をご覧いただけます。　亀岡市議会 議会中継　検　索

※議員の写真右下部を読み取ると、その議員の動画と会議録を見ることができます。

高齢の農業者を守る草刈り支援制度の創設を！



山木裕也 議員

山木　高齢化で草刈りを続けられず、農地の維持が難しくなっている。宮城県栗原市では、70歳以上の農業者を対象に、草刈り作業を委託した場合、その経費の３分の１、上限10万円を補助する農地草刈り支援事業を実施されているが本市でも補助制度を創設すべきでは。

市長　営農を続けられる環境づくりは重要と考える。国の交付金制度との重複の有無なども含め、今後研究していきたい。

猛暑の中で草刈りを行う高齢農業者

下水道マンホールからゴキブリを防ぐ具体的な対策を！

山木　西つつじケ丘のマンホールから害虫が出る問題について、密閉型の蓋への交換と併せて、薬剤による駆除や対策後の効果確認を強く求めるが所見は。

上下水道部長　密閉型の蓋へ順次交換している。薬剤散布は安全な方法を検討し、交換後も発生状況を確認していきたい。

人事院勧告に沿って、再任用職員や会計年度任用職員の処遇改善を！



片山輝夫 議員

片山　①再任用職員の給与について、月例給が平均で8・5パーセント、期末勤勉手当で０・05か月分の引上げが示されているが、本市の対応は。②人事院の指針改正や厚生労働省の同一労働同一賃金ガイドラインを踏まえ、会計年度任用職員に扶養手当と住居手当を支給するべきではないか。

市長　①国準拠を基本としており、今後も国の動向を注視し、しかるべき時期に条例改正案を上程したい。②支給対象や要件について、国から内容が示されておらず、国からの通知を確認する中で判断していきたい。

市場任せの米政策で米価は乱高下、農家を励ます市独自支援策を

片山　①ＪＡ京都の米の買取価格は昨年の約半額である。農業経営への影響をどのように認識しているのか。②市として価格補償を含め独自支援策を実施しては。

産業観光部長　①価格の下落は農業経営にとって大きな影響を与えると考える。②価格補償は、国の制度として検討されるべきだが、市内生産者の課題は国・府に積極的に要望していきたい。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

空き家の有効活用を促す取組を進めるためにも自治会協力を！



林　徹司 議員

林　移住促進特別区域（京都府が定めた地域）以外の市街地における空き家の把握及び対策として、自治会に協力していただける制度を導入しては。

まちづくり推進部長　自治会などの働きかけにより、空き家所有者が空き家・空き地バンクに登録された場合は1件につき3万円、さらに売買・賃貸借などでマッチングした場合は2万円の報奨金を交付する本市独自の制度があり、既存の制度を活用していただきたい。

市内の街路樹や危険樹木の管理は大丈夫なの？不具合システム活用を

林　街路樹を含む樹木の維持管理において自治会や地域の負担軽減に道路不具合システム（アプリ）などを活用しては。

市長　市道や河川の不具合を通報するシステムがある。市のホームページで案内しており、河川などは個別に掲載されていないため、その他欄にチェックし通報していただきたい。



宮の谷川

農作物などの害獣被害防止対策に向けてさらなる支援を



大石慶明 議員

大石　近年、耕作放棄地が増加している。農作物の害獣被害による耕作意欲の低下も要因と考える。本市において害獣被害防止対策のために電気柵などの設置支援を一層強化すべきではないか。

市長　電気柵は害獣対策で有効であるため、国の鳥獣被害防止総合対策交付金を活用し、防護柵の設置事業について農家組合に補助している。さらに、本市独自の動物被害防止事業としても電気柵の設置補助を実施している。今後も地域と連携し、取り組んでいく。

湯の花温泉街の活性化に向けた取組状況は

大石　湯の花温泉地域総合整備計画「ゆあみの里構想」について30年ぶりに見直し・検討が進められているが取組状況は。

産業観光部長　「ゆあみの里構想」は令和7年に検討委員会を立ち上げ、時代に即した整備計画に取り組むため、湯の花温泉組合事業者から意見を聞くとともに他の温泉地との比較分析を行い計画の素案を作成しており、今年度中の計画策定を目指していく。

安心できる避難所環境の充実を



大塚建彦 議員

大塚　近年、災害はいつ、どこで起きてもおかしくない。避難所で断水が長引くと衛生を保てなくなる。民間事業者や近隣自治体と災害協定を締結し、災害時にシャワートレーラーの共同利用を検討できないか。

市長　避難所環境の改善を図るためには、シャワートレーラーなど、災害時に活用できる車両や敷材を保有する民間事業者と災害協定を締結し、平時から体制を構築していくことが非常に有用だと考える。

高齢者の社会参加に係る移動支援を

大塚　高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持ち、健康に暮らすには社会参加の機会確保が重要であるが、参加のための移動が負担となっている。本市のマイクロバスが利用できないならば、茨木市と同様にバスの借り上げに助成を検討できないか。

健康福祉部長　公共交通による移動が困難な中、必要性は一定理解するが、茨木市における本事業の経費面や、本市のバス事情を考慮すると、茨木市と同様に実施することは難しいと考える。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

10年後、20年後を見据えたトロッコ亀岡駅周辺の地域づくりとは



梅本靖博 議員

梅本　10年後、20年後を見据えたトロッコ亀岡駅周辺を含む地域づくりの考えは。

市長　今後は、地域一体の面的な受入れ体制を構築し、行政として必要な施策や支援策を講じたい。

18歳で支援を途切れさせない本人と家族が安心して暮らせる地域へ

梅本　障がいのある子の18歳の壁を本人の支援だけでなく、家族の就労、生活を支える視点での認識は。

健康福祉部長　本人や保護者の就労や家庭生活にも影響が出ると認識している。

梅本　障がいのある家族を支えながら働き続けられる、福祉・雇用・産業が連携した環境づくりは。

健康福祉部長　制度について、企業や事業主、働く人への周知など、関係部局とも連携を図りたい。

梅本　日中一時支援や移動支援の利用体制、人材の確保・育成、学校・大学との連携、家族を雇用する企業への理解促進まで、福祉の枠を超えた地域全体の仕組みづくりを引き続き提案していく。

鳥獣被害防止などに向けた懇談の場創設と被害防止計画の公表を



原野実生子 議員

原野　令和8年12月定例会及び本年6月定例会で提案した農業従事者との協議体やこん談の場の創設などの検討状況は。

市長　議員提案の新たな協議体やこん談会の設置は現時点で行っていないが、地域こん談会で農業従事者を含む地域の方と協議を行っている。スピード感ある対応が求められ、農林振興課、南丹広域振興局、南丹農業改良普及センターも被害状況の聞き取りや対策紹介を行っている。地域の状況に応じた対策に取り組んでいただきたい。

原野　地域こん談では複数案件の中で扱われるため、深い話をする場の創設が必要だと考える。

原野　本市は鳥獣被害防止計画を策定しているのか。

産業観光部長　公表はしていないが、担当課で「亀岡市鳥獣被害防止計画」を作成し、令和8年度の鹿捕獲頭数などを京都府に提出している。ホームページには未掲載のため、今後、市民や農業者、集落に対して公表し説明していく。

原野　困っている地域住民や農業従事者の方が議論される1本の柱になる。公表をお願いする。

避難施設の改修や空調整備は急務



三上　泉 議員

三上　熊本地震を教訓に避難所の整備は急務である。地震時も避難所になるように自治会館の改修や建設への市の支援は必要である。また避難所となる学校体育館の空調整備も急がれるが所見は。

市長　世界基準の避難所運営にすべきであるが、従来からある補助金制度や自治会版ふるさと納税の寄附を活用いただきたい。学校体育館は本年度中学校から実施設計を進めて来年度に設置工事を行う。小学校も順次整備する。

危険な交差点に市ができる対策は

三上　市道交差点の横断で危険な箇所がある。市道西川線の川沿いに注意喚起の標識を市道中矢田篠線のマツモト亀岡東店前の交差点に注意喚起灯や道路標識などを検討する必要があると思うが見解は。

まちづくり推進部長　市道西川線には、交差点手前に注意喚起の路面標示や注意看板の設置を検討したい。市道中矢田篠線は、交通量増加で信号機のない横断歩道は危険な状態だと認識している。警察署等関係機関と協議して注意喚起灯も含め検討したい。

掲載内容は、質問議員がそれぞれ執筆したものです。

母子の命と健康を守るため『母子専用避難所』の早期設置と体制整備を


山本由美子 議員

山本　一般的な指定避難所では、プライバシーの確保や授乳・泣き声への気兼ね、衛生面の不安などから、妊産婦や乳幼児連れの家族が大きな心身の負担を抱えているため、母子専用避難所の整備が全国で広がりつつある。本市でも日頃から利用している保育園や子育て支援センターなどを活用し設置を推進する考えは。

市長　災害時の母子専用避難所開設の必要性は認識しており、設置に向けて前向きに検討を進めていく。

身寄りのない高齢者が安心して暮らせる支援体制の構築へ

山本　身寄りのない高齢者の入院・入所や死後事務など深刻な相談が増加する中、支援強化を盛り込んだ改正社会福祉法が本年6月に成立した。中心的な役割を担う市社協の体制強化や法施行に向けた今後のネットワーク構築をどのように進めていくのか。

健康福祉部長　市社協が地域ニーズを踏まえた効果的な実施体制が取れるよう支援し、これまで培ってきた地域のネットワークや支援体制の一層の充実を図る。

市の花、桜を守れ！被害2本の今こそ封じ込めを！


法貴隆司 議員

法貴　市内で特定外来生物クビアカツヤカミキリが確認された。幼虫が桜や梅、桃などを食害し枯死の恐れがある。市花の桜を守るため、市民や農業者、事業者と連携した監視体制を構築し、発見者への報奨や民有地の防除費用補助を創設してはどうか。

市長　市内全域の公園や学校などを緊急点検したが、新たな被害は確認されなかった。今後も継続的に調査する。ホームページや公式ＬＩＮＥ、広報紙で情報発信を行うとともに、早期発見に向けた報奨金制度や、国・府の財源を活用した防除費用の補助制度を検討していく。

ＡＥＤを24時間使用できる環境整備を！

法貴　夜間や休日でもＡＥＤを使用できるよう、屋外型収納ボックスの設置や民間事業者との連携を進めてはどうか。

総務部長　屋外型収納ボックスは温度管理や防犯、設置費用など課題があるが救命率向上に重要であり、公共施設への設置を検討する。夜間・休日営業の民間事業者にもＡＥＤ設置の必要性を説明し協力を求める。

自治会・地域懇談会での課題への対応は


齊藤一義 議員

齊藤　複数の自治会から要望が出ていた、自治会回覧板の電子化を導入しては。

市長　回覧板を電子回覧板に変更する具体的な方法について、今後、自治会長会でも提案し、実証実験に取り組んでいただける自治会を募り、持続可能な方法を模索しつつ導入へ進めたい。

ＭＴＢ（マウンテンバイク）活用で地域に新たなにぎわいを

齊藤　第３次自転車活用推進計画が閣議決定され、防災・観光・交通安全教育などを社会課題解決手段として国策に明確に位置づけ、ＭＴＢ活用サイクルツーリズムの推進が盛り込まれた。ＭＴＢで周遊するグリーンループとして京都・丹波２市１町で連携すれば魅力が倍増するのでは。



産業観光部長　緑化フェアを契機に議員提案の周遊コースを新たに設定し、幅広い人に地域の魅力を感じてもらえるよう取組を研究したい。

緑化フェアは亀岡に、何が、どう、プラスなの？フェア後に何を残す？


竹内博士 議員

竹内　全国都市緑化フェアを単なるイベントで終わらせず、フェア後に何を残し、それを亀岡の発展にどのようにつなげていくのか市長の考えは。

市長　２市１町の連携と市民・子どもの参加が将来のまちづくりを支える財産となる。フェア後も各拠点を活用し、交流・関係人口の拡大や移住・定住につなげていく。

亀岡の自然を生かした「子育て」「教育」「生涯学習」「観光」の可能性は

竹内　地球環境子ども村が長年培ってきた自然体験・環境教育を自然保育から学校教育、生涯学習まで連携し、体系的・継続的に推進する体制構築の考えや全世代が自然に触れ、学び、何度も訪れる仕組みへと発展させる考えは。

教育長　自然体験は、子どもの主体性や協調性、自己肯定感を育む大切な機会である。

環境先進都市推進部長　これまで蓄積したプログラムや人材ネットワークを生かし、学校教育と連携をしつつ部局横断で体系的・継続的な推進に向けて調整し、京都丹波全体で広域的な取組を進める。

ごみ処理手数料2倍化の根拠と将来のごみ処分の計画は


大西陽春 議員

大西　市民から疑問の声があるが２倍にする根拠は。

環境先進都市推進部長　ごみ処理に要する経費が増加しているため。



大西　本市の処理施設の今後の計画は。

環境先進都市推進部長　ごみの広域処理に向け、協議を進めている。協議が調えば、桜塚クリーンセンターについては、将来的に役割を終える。

学校給食をよりよいものに今後も交渉を進めるべき

大西　育親学園の給食についての考えは。

市長　地元農産物やオーガニック食材を取り入れる。少人数でも自校給食が継続できるよう努める。

大西　選定業者の性能審査結果の点数は高くなかったが。

市長　地元企業を使い経費を削減した。性能を高められるよう交渉して進める。

コウノトリが飛び交うまち、亀岡に


西口純生 議員

西口　各地に飛来するコウノトリは昭和13年に特別天然記念物に指定されてから70年を迎える。早期に人工巣塔を設置し育成から巣立ちまで保全してコウノトリが飛び交う幸せなまち亀岡をつくろうではないか。伝承では、アムール川流域や中国北東部で繁殖し、弥生時代から越冬のため日本へ飛来するとされる。現在は千葉県野田市や福井県等でも放鳥され、野生化し個体数が増えている。飛来地域周辺の池・水田・水路など人工巣塔計画地周辺の餌場調査は行われたのか。

環境先進都市推進部長　豊かな自然環境の中で生息する種で、自然状態で十分な食料が確保できる環境も必要とされている。生息環境の調査や保護団体、文化財担当部局と連携し、研究を進める。

西口　コウノトリと暮らせる亀岡のまちづくりをつくり上げてほしいが所見は。

生涯学習部文化芸術担当部長　保津町に飛来して採餌の確保ができたことは、水田などに多様な生き物が生息していることが示され、喜ばしい。今後も、地域の方や専門家、関係機関の協力をいただき共生できるまちづくりを進めていきたい。

市の草花に指定されたオニバスが今年、久しぶりに平の沢池で開花



浅田晴彦 議員

浅田　市の草花に指定されたオニバスが久しぶりに平の沢池下池、中池に開花した。今年は多く、現在、大小含め100枚以上見られる。平の沢池中池北側に整備した駐車場から市道川東線沿いの歩道展望デッキ下でオニバスが見られる。京都府レッドデータブックで絶滅寸前種に指定される珍しい水生植物で、今回の開花を契機に守り続けたい。そこで平の沢池周辺や中堤防を遊歩道に整備してはどうかと考えるが所見は。

まちづくり推進部長　平の沢池の下池、中池、上池及びその周辺は、都市計画公園として都市計画決定された公園である。隣接する市道川東線は水鳥の道として散策路やあずまや等が整備されており、オニバスが自生し水鳥が多く集まる場所であるため、多くの人が探鳥や散策を楽しんでいる。現在、平の沢公園の具体的な整備計画はないが、下池・中池の中堤防整備については関係機関と協議しつつ調査研究を行う考えである。



平の沢池のオニバス

廃池の管理負担軽減と再編整備計画について問う



土岐　新 議員

土岐　利用がなくなった「ため池」の管理負担軽減や防災リスク回避のため、有利な財源を活用した再編計画の策定など、将来に無理な負担を残さないかたちと今後の再編支援制度や利活用の展望は。

市長　利用がなくなった場合、早い段階で廃池にする手続を進める必要があり、状況に応じて国の補助事業を活用するなど地元関係者と迅速に協議・検討を行う。

ALT教育の成果と今後の展望は

土岐　ラプラプ市との教育協定に基づき、ALTが15名体制へ大幅拡充されたが人数増で終わらせず、児童生徒の意識変化や指導案共有による教員の負担軽減、フィリピン派遣事業の成果など多文化共生実現への展望は。

教育長　常に学校に滞在し、多く関わることで、児童生徒の英語学習意欲が高まり、学習の好循環が確認できた。英語担当教員の業務分担も負担が軽減し、授業改善と相乗効果が生まれた。派遣の成果は市民に公開し、広く浸透させ、世界で活躍できるグローバル人材の育成や多様性を尊重する多文化共生につなげる。

完成した都市計画道路並河亀岡停車場線の交通安全対策は



福井英昭 議員

福井　都市計画道路並河亀岡停車場線はどの区間を指すか。

まちづくり推進部長　大井町並河2丁目国道9号交差点から追分町の皐月橋東詰め交差点を指す。

福井　では、府道王子並河線と市道宇津根亀岡停車場線との境界は。

まちづくり推進部長　宇津根交差点の河原町側の部分より西側が府道王子並河線となる。

福井　犬飼川の渡河地点に信号があり、そこからセレマ亀岡前までの長い間、信号がない。交通量が激増しているが対策が講じられていないのでは。

まちづくり推進部長　宇津根交差点は、変則交差点だが、それぞれが直角に交差するように改善され、道路安全上は完成されているとの公安委員会の見解である。

福井　私は宇津根交差点には信号機が付くと事前に聞いていたが残念だ。2月に地元説明会を行っていただいた際に出た住民の意見をどのように反映するのか。

まちづくり推進部長　早急に交通量調査を行い、市としてできる部分は取り組んでいく。

川の駅にスロープ等の整備を！



松山雅行 議員

松山　地元から、「施設利用者や緊急車両の乗り入れのためスロープなどの整備を求める要望」が出されている。府との協議の進捗状況は。

産業観光部長　河川管理者である府や関係機関と、既存の進入路を緊急車両の進入ルートとして活用できるよう、河川敷の雑草除去や竹やぶ整備について協議している。水防面にも配慮し、現地確認を行いながら、安全に利用できる施設整備に向け、実現可能な方策を検討していく。

人材の広域連携を亀岡始点に！

松山　広域人材の確保と連携を見据え、本市内で人材をまわす仕組みの構築は。

市長　行政で培った豊富な経験やキャリアが退職を機に途切れるのは、大変もったいない。これまでの経験をその後の人生だけでなく、地域のためにも生かしていただくことは意義あることである。議員提案の地域商社ONEかめおかを活用した人材バンクを設け、必要とする地域や団体へ人材を派遣する仕組みは、有用であると考える。今後、ONEかめおかとも協議していく。

京都サンガF.C.サッカー練習場をにぎわいあるまちづくりに



菱田光紀 議員

菱田　京都サンガF.C.のサッカー練習場候補地2か所のうちの一つ、中矢田地域に施設ができれば、スタジアムと行き来する人々により、その間の城下町地域の活性化も期待できると考えるが。

市長　練習場の立地によるにぎわいを生み出すためには移動経路を含む周辺のまちづくりとの連動が必要で、実現には地域の事業者や住民の皆さんの力が重要である。地権者や東部地域から要望をいただいた。受け入れに前向きで、まちづくりにつなげたい思いがあると承知している。

府道亀岡園部線の市街地未整備区間の整備促進を

菱田　府道亀岡園部線市街地未整備区間の整備促進の進捗状況は。

市長　令和3年度に加え令和7年度も沿線住民対象のアンケート調査を行った。回収率が9割で関心の高さを確認した。今後、具体的な協議を進める。大変狭小で多くの車やバスが通る所であり、歩道ができ、商店の入り口からすぐ道とならないようなまちづくりを進める。

『三方よし』で教育に変革を



小林　仁 議員

小林　「子どもよし」定期テストのない学校。点数評価からルーブリックなど多角的な評価方法を活用しているが、状況を客観的に把握するため定期的なテストは有効である。

教育長　探究的な学習を重視しており、テストの点数だけではなく、ルーブリックなど多角的な評価方法への評価方法に変えれば過緊張から解放され、楽しい授業として人は集まるのではないか。

小林　「学校・教師よし」教師も業務過多で過緊張になっている。学年担任制などによる教職員業務負担の軽減、やりがいの確保については。

教育長　事務作業をサポートする支援員を配置し、教員の負担軽減に努めている。学年担任制などは、児童生徒の内面理解、教員の指導改善、保護者連携など効果的であると認識している。

小林　「保護者・社会よし」点数評価をする限り評価する側、される側で対立が生じているのではないか。保護者は成長が知りたいのでは。

教育長　観点別評価と多角的評価を組み合わせて子どもの成長と未来の目標設定を融合させた評価体制の構築に取り組む。